

## 山口県平生町で記録したサギ類3種の地上営巣例

小林繁樹

〒745-0802 山口県徳山市栗屋坂田948-24 E-mail:kobayashi.s@do.enjoy.ne.jp

### はじめに

日本では19種のコウノトリ目サギ科の鳥類が生息し、15種が繁殖する(中村・中村 1995)。このうちゴイサギ *Nycticorax nycticorax*、コサギ *Egretta garzetta*、アオサギ *Ardea cinerea* のサギ類3種は日本ではおもに樹上に集団で繁殖し、ゴイサギはまれに島嶼で地上営巣することが(清棲 1978)、アオサギは島嶼で地上営巣した例が知られている(清棲 1978)ほか、愛知県豊橋市周辺の3か所の溜め池のヨシ原や土手で地上営巣していることが(石田朗氏 私信)、またコサギについては琵琶湖の竹生島で地上営巣していることが(石田朗氏 私信)知られているが、地上営巣の記録は多くない。一方、ヨーロッパではアオサギの地上営巣は普通で、ヨシ原などに営巣している(Bruun 1974, Heinzel *et al.* 1974)。

山口県内では、ゴイサギ、アマサギ *Bubulcus ibis*、ダイサギ *E. alba*、チュウサギ *E. intermedia*、コサギ、アオサギの集団繁殖地について1973年から現在に至るまで2年または3年おきに10回の調査が実施されているが(日本野鳥の会山口県支部 1973, 1975, 1977, 1979, 山口県野生鳥獣調査団 1982, 1985, 1988, 1990, 1993, 1996)、すべて樹上での営巣であり、地上での営巣は確認されていない。ところが今回筆者は、山口県熊毛郡平生町の農業用溜め池内のヨシ原で地上営巣するゴイサギ、コサギ、アオサギを観察したので状況を報告する。

### サギ類が地上営巣した場所の環境

今回ゴイサギ、コサギ、アオサギが地上営巣した山口県熊毛郡平生町人島は、本州の最西端、山口県東部の瀬戸内海側の平地で33°56'N, 132°04'Eに位置し、海拔は1m程で水田地帯の間を流れる田布施川の河口部付近にあり、周囲を国道や農道に囲まれた農業用溜め池内である(図1)。溜め池は面積が約3haで、ヨシ *Phragmites communis* やハス *Nelumbo nucifera* が繁茂し、夏期には繁った葉で開水面がほとんど見えなくなる。ヨシ原はツバメ *Hirundo rustica*、スズメ *Passer montanus*、ムクドリ *Sturnus cineraceus*、ゴイサギ等の集団ねぐらとして利用されており、1989年に平生バイパスの道路新設工事により池の5%程度が埋め立てられた(小林ほか 1997)以外はほとんど環境の変化はない。

---

1999年11月30日 受理

キーワード: アオサギ, ゴイサギ, コサギ, 集団繁殖地, 地上営巣



図1. サギ類3種が地上営巣した環境 (1999年4月27日)

Fig. 1. Breeding colony of Black-crowned Night Heron, Little Egret and Grey Heron on the ground by a pond (April 27, 1999).

#### 調査方法

調査地である農業用溜め池が見渡せる溜め池の水門上高さ3mの位置から、8倍の双眼鏡および25倍の望遠鏡を使用して集団繁殖地を観察し、営巣数や個体数をかぞえた。営巣数や個体数の調査は精度を高めるため慎重を期したが植物の繁茂などによって確実な値を得ることは困難であった。そのため記載した営巣数や個体数は確実に記録した値でありそれよりもやや多い可能性がある。

#### 観察状況

1999年4月27日 溜め池内の風で倒れたヨシ原でヨシの茎のあいだに木の枝やヨシの茎を集めてサギ類が集団で地上営巣しているのをみつけた。ほとんどの巣が抱卵中で、ゴイサギの巣は少なくとも42巣(以下同様)、コサギ24巣、アオサギ1巣を確認した。集団繁殖地近くのヨシ原にアマサギ3羽、河口部でダイサギが確認されたが繁殖に関する行動はみられなかった。集団繁殖地はヨシやハスの葉がまだ展開しておらずほぼ全体が見通せた。集団繁殖地は池の中央に近い部分にあり、岸からは遠いところで100m、最も近い部分でも30mの距離があった。

5月6日 地上営巣中の巣数はゴイサギ72巣、コサギ31巣、アオサギ3巣で4月よりも増加していた。ゴイサギ、コサギはほとんどの巣が抱卵中であった。確認できたアオサギ3巣の内訳は親鳥が巣に座り抱卵中の1巣、ヒナ2羽のいる1巣、親鳥2羽とヒナ3羽のいる1巣であった。集団繁殖地近くでダイサギ2羽をみたが繁殖に関する行動はみられなかった。当地に集団繁殖地ができたことから、直線距離で北東4kmに古くからある平生町山田地区のサギ類の集団繁殖地へ5月6日に確認に行くと例年通り広葉樹、針葉樹、竹の混交林にゴイ



図2. 地上営巣するサギ類 (1999年7月7日)  
Fig. 2. An adult and nestlings in the nest (July 7, 1999).

サギ、アマサギ、ダイサギ、チュウサギ、コサギ、アオサギの5種が樹上営巣しており、5種合計で約100巣をかぞえた。

5月11日 地上営巣数はゴイサギ、コサギ、アオサギをあわせて約100巣が確認でき、ゴイサギ、コサギはほとんどの巣が抱卵中で、巣材の木の枝をくわえて飛来する個体もいた。アオサギは抱卵中の1巣とヒナのいる2巣が確認できた。

5月27日 ヨシの新芽が成長し、ハスの葉が出て集団繁殖地がみにくくなってきた。地上営巣中の巣数をかぞえると、ゴイサギ65巣、コサギ52巣、アオサギ4巣が確認できた。ゴイサギ、コサギは抱卵中が多いもののゴイサギ、コサギともヒナ3羽のいる巣を確認した。アオサギの巣でもほとんど成鳥と同じほど大きくなったヒナが見られた。

7月7日 ハスの葉が水面を覆いほとんど開水面がなくなっていた。ヨシが成長して見通しが悪く営巣数の確認は困難であった。ゴイサギ30巣、コサギ50巣が確認でき、ほとんどの巣にヒナがいた(図2)。アオサギは成鳥1羽がみられたもののヒナはおらず、巣立ちしたものと思われた。チュウサギ夏羽の2羽、アマサギ1羽を観察したが繁殖に関しては不明である。

8月23日 ハスが繁茂しヨシの中にまで進出していた。わずかに残ったヨシに営巣するゴイサギのヒナ2羽がいる1巣とヒナ1羽のいる1巣あわせて2巣とコサギ10巣を確認した。コサギの巣はヒナ3、4羽が多かった。

9月4日 コサギとゴイサギの各1巣が確認できただけであった。ヒナはそれぞれ2羽であった。

9月17日 日没前に観察したところ集団繁殖地はなくなっており、同じ場所にアマサギ30羽、ダイサギ5羽、チュウサギ5羽が集合していた。就峙前の集合と思われた。

この観察地以外にも、4月28日に下関市乃木浜2丁目の乃木浜総合公園自然観察ゾーン内のヨシ原で営巣するアオサギをみつけたとの情報(西村・安藝氏 私信)を得たので5月16日

に観察に出かけた。公園は面積約3haで園内の人工池につくられた中州のヨシ原の中に1巣があり、巣立ち間近と思われるアオサギのヒナ2羽がいて、ほぼ成鳥と同じ大きさになっていた。わずかに頭部に綿羽が残っており羽ばたきを行なったりしていた。

## 考 察

今回サギ類3種が農業用溜め池内のヨシ原で地上営巣を行なったが、通常の営巣形態である樹上での集団営巣に比較して繁殖を阻害する要因が多いのにも関わらず、なぜ地上営巣を選んだのであろうか。繁殖を阻害する要因としては、地上営巣は人や捕食性のほ乳類、例えばタヌキ *Nyctereutes procyonoides*, イタチ *Mustela itatsi*, キツネ *Vulpes vulpes*, ノイヌ *Canis familiaris*, ノネコ *Felis catus* などや、アオダイショウ *Elaphe climacophora* などのヘビ類が営巣地内へ侵入することが容易で、高い捕食圧や営巣地の攪乱が考えられる。

今回繁殖を記録した農業用溜め池は、冬期にゴイサギのねぐらとして利用されるほかサギ類の休息地、採食場所としても周年使われており（小林ほか 1997）、安全性が高い場所と考えられる。地上ではあるが周囲を水面や湿地生植物で覆われた溜め池内の岸から比較的離れたヨシ原内に造巣することで、人や捕食性のほ乳類や虫類などが容易に侵入しにくい環境であり、池の周囲は平野部の水田地帯を流れる田布施川沿いに位置し、交通量の多い国道や農道に囲まれていて、イタチやヘビ類など、捕食者の数そのものが多くないと思われる。また集団繁殖地の発見当初はヨシやハスが十分成長しておらず、営巣地が見渡せたが、その後急速に植物が成長して集団繁殖地全体がみえにくくなり、通行する車や人も集団繁殖地の存在に気づかないようであった。池の中での繁殖は大雨による増水で、巣が水没し卵の成長が停止したりヒナが溺死することも考えられるが、この溜め池は農業用で水門があって水位が調節されており、大雨の続いた後の7月7日の観察でも、繁殖にはまったく影響がみられなかった。仮に増水した場合でも、巣の補修は周囲の枯れたヨシを利用すれば容易に可能と思われた。

サギ類は繁殖環境が良好であれば毎年同じ場所に集団で繁殖することが知られているが、今回繁殖を記録した農業用溜め池からわずか4kmしか離れていない平生町山田地区には、1981年から現在まで約20年近く継続する集団繁殖地が存在（山口県野生鳥獣調査団 1982, 1985, 1988, 1990, 1993, 1996）しており、本年も集団繁殖地が存在しているのにも関わらず新しい集団繁殖地ができた原因としては、周辺に平生町、柳井市の水田地帯や田布施川、柳井川等の河川、河口干潟があり、良好な採食環境があることのほか、平生町山田地区の集団繁殖地の営巣数が1982年、1985年、1990年の調査では約580~650巣だったものが1993年、1996年には約870~930巣と増加傾向（山口県野生鳥獣調査団 1982, 1985, 1988, 1990, 1993, 1996）にあること、営巣環境が長年の集団繁殖地としての利用やマツクイムシの被害でアカマツ *Pinus densiflora* などの営巣木が枯れ、その下にワラビ *Pteridium aquilinum* やヨウシュヤマゴボウ *Phytolacca americana* などの草が侵入したり、集団繁殖地に隣接した混交林が伐採されたことから、個体数増加による集団繁殖地の分裂、営巣環境が悪化してきたことによる一部の

移動の可能性が考えられる。

また、25年以上継続調査が行なわれている山口県内のサギ類の集団繁殖地で、今回初めて地上営巣が確認され、同時期に下関市でも同様に地上営巣が記録されたことは興味深く、今後の動向が注目される。

## 謝 辞

安藝義則、梶畑哲二、西村安昭氏には下関市乃木浜野鳥公園のアオサギの地上営巣に関する情報、写真撮影などについてご協力いただいた。また石田朗氏には愛知県豊橋市周辺のアオサギの地上営巣および琵琶湖竹生島でのコサギの地上営巣に関する情報を提供いただいた。紙上を借りてお礼申し上げます。

## 引用文献

- Bruun, B. 1974. The Hamlyn Guide to Birds of Britain and Europe. Hamlyn, London.
- Heinzel, H., Fitter, R. & Parslow, J. 1974. The Birds of Britain and Europe. Collins, London.
- 清棲幸保. 1978. 増補改訂版 日本鳥類大図鑑. 講談社, 東京.
- 小林繁樹・内山一郎・内山由子. 1997. 山口県熊毛郡田布施町・平生町田布施川河口周辺の野鳥. 山口野鳥 30: 56-100.
- 中村登流・中村雅彦. 1995. 原色日本鳥類生態図鑑. 保育社, 大阪.
- 日本野鳥の会山口県支部. 1973. 山口県下における鳥類集団繁殖地調査報告書. 山口県, 山口市.
- 日本野鳥の会山口県支部. 1975. 第2回山口県下における鳥類集団繁殖地調査報告書. 山口県, 山口市.
- 日本野鳥の会山口県支部. 1977. 第3回山口県下における鳥類集団繁殖地調査報告書. 山口県, 山口市.
- 日本野鳥の会山口県支部. 1979. 第4回山口県下における鳥類集団繁殖地調査報告書. 山口県, 山口市.
- 山口県野生鳥獣調査団. 1982. 第5回山口県下における鳥類集団繁殖地調査報告書. 山口県, 山口市.
- 山口県野生鳥獣調査団. 1985. 昭和60年度サギ集団繁殖地調査報告書. 山口県, 山口市.
- 山口県野生鳥獣調査団. 1988. 昭和63年度サギ集団繁殖地調査報告書. 山口県, 山口市.
- 山口県野生鳥獣調査団. 1990. 平成2年度サギ集団繁殖地調査報告書. 山口県, 山口市.
- 山口県野生鳥獣調査団. 1993. 平成5年度鳥類集団繁殖地調査報告書. 山口県, 山口市.
- 山口県野生鳥獣調査団. 1996. 第0回山口県下における鳥類集団繁殖地調査報告書. 山口県, 山口市.

Records of Black-crowned Night Heron, Little Egret and Grey  
Heron nesting on the ground

Shigeki Kobayashi

948-24 Kuriya-sakata, Tokuyama-shi, Yamaguchi 745-0802

I found Black-crowned Night Heron *Nycticorax nycticorax*, Little Egret *Egretta garzetta* and Grey Heron *Ardea cinerea* nesting on the ground in a reed bed at Hitojima in Tabuse-cho, Kumage-gun, Yamaguchi Prefecture in 1999. The total number of nests was 120 on 27 May 1999, of which 65 were Black-crowned Night Heron, 52 were Little Egret, and one was of Grey Heron. This is the first record in Japan of Little Egret nesting on the ground and is also unusual for Black-crowned Night Heron and Grey Heron in Japan. This is also the first record of nesting on the ground for these three species in Yamaguchi Prefecture.

*Key words:* *Ardea cinerea*, *colony*, *Egretta garzetta*, *nesting on the ground*, *Nycticorax nycticorax*